

企画展



山桜図屏風 (衣笠家蔵)

2026 10.17^①
—
12.20^②

地域の史料たち9 三木出身の近代画家

衣笠木荘

企画展特別講演会

「衣笠木荘の画業について」

日時:令和8年11月21日(土) 13時30分~15時

講師:橋本寛子氏

(新三木市史通史編文化遺産部会会員、

神戸女学院大学等兼任講師)

会場:みき歴史資料館3階 講座室

定員:80名(無料、三木市電子申請システムで要申込、先着順)



桜も炎の内 (衣笠家蔵)

主催 三木市総務部市史編さん室
三木市立みき歴史資料館

三木市立 みき歴史資料館

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4番5号

TEL.0794-82-5060

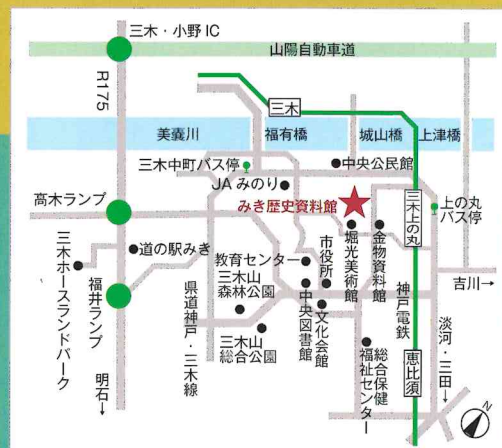
アクセス:神戸電鉄粟生線三木上の丸駅 徒歩5分

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日、11月4日(水)、11月24日(火)

※11月23日(月・勤労感謝の日)は開館

入館
無料



—— 地域の史料たち9 ——
三木出身の近代画家

衣笠木荘

令和8年10月17日[土]～12月20日[日]

きぬがさ もくそう
衣笠木荘 (1902～1952) は、吉川町水上出身の近代画家です。昭和45年(1970)に発刊された『吉川町誌』においてすでに紹介されていますが、この度の市史編さんに伴う調査で初めて本格的に取り上げられ、『市史研究みき』第6号(2021年)及び『新三木市史 第7巻 資料編 文化遺産』(2025年)で、その価値づけがなされました。

この企画展は、木荘の初めての展覧会となります。

木荘は、明治以降の急速な近代化とともに変化してきた近代絵画の制作状況のなかで、試行錯誤しながら自らの主題を探し続け、作品を生み出してきました。山元春挙(1872～1933)の画塾「早苗会」に入門し、文部省主催の官展(帝展・新文展・日展)には、戦前・戦後通して10回以上入選しています。

木荘の作品は出身地を中心に市内に点在し、三田中学校(現三田学園中学校・高等学校)卒業後に移り住んだ京都にも残されています。当企画展では、彼の人生をたどりながら作品を紹介するとともに、生家に残されたスケッチなども合わせて展示いたします。



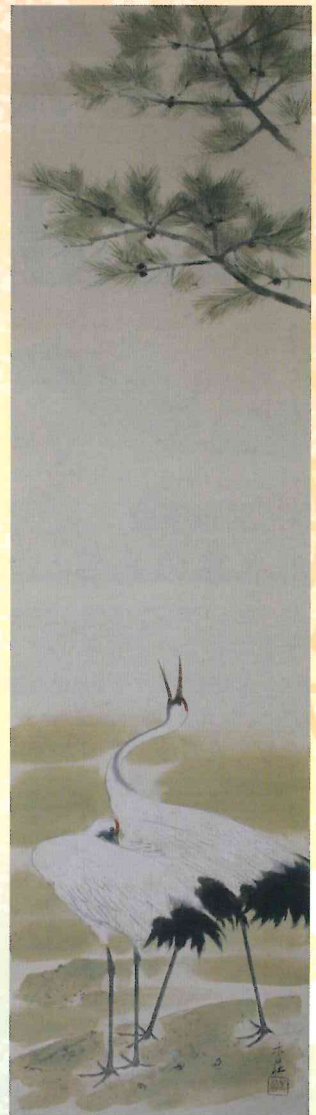
4



3



2



1

1: 松下双鶴図

4: 老松図

2: 峡谷の秋図

※1・2・4は衣笠家蔵、3は個人蔵

3: 瀑布図

10月10日～11月8日まで堀光美術館において、「三木ゆかりの芸術家・作家展」を開催します。三木市と関わりの深い作家の作品に触れるよい機会ですので、あわせてご来場ください。